

令和6年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名：岩手県
農業委員会名：花巻市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和6年4月1日現在)

※ 「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和3年8月1日

任期満了年月日 令和6年7月31日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	24	24
認定農業者	—	13
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	8
40代以下	—	2
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	28	28	18

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	4,648
農業経営体数	3,374

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	4,338
女性	1,899
40代以下	251

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	548
基本構想水準到達者	82
認定新規就農者	16
農業参入法人	105
集落営農経営	43
特定農業団体	0
集落営農組織	43

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	13,500	2,160				15,700

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の実施状況

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

1 最適化活動の成果目標

(1)農地の集積

①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	15,700 ha	9,865 ha	62.8 %
課題	平場地域を中心に担い手への農地集積が一巡した状況であり、今後は集約化を推進により担い手の作業環境を改善する必要がある。中山間地域においては、耕作条件不利地が多いため、基盤整備事業と連携した農地集積に取り組む必要がある。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

②目標

農地の集積の目標年度	7 年度	集積率	85 %
今年度の新規集積面積	1,740 ha	農地面積(C)	15,700 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	11,605 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	73.9 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③実績

今年度の新規集積面積	△ 13 ha	農地面積(F)	15,600 ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	9,852 ha	今年度末の集積率 (H)=(G)／(F)	63.2 %
目標に対する達成状況(H)／(E)	85.4 %		

農業委員会の 点検結果	平場地域を中心に担い手への農地集積が一巡した状況であり、今後は更なる集約化の推進により担い手の作業環境を改善する必要がある。中山間地域においては、耕作条件不利地が多いため、基盤整備事業と連携した農地集積に取り組む必要がある。
----------------	--

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

(2)遊休農地の発生防止・解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	
		うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	28.0 ha	14.0 ha	14.0 ha
平場の優良農地であれば、当該農地近隣の法人に声掛けを行うことにより農地の再生及び耕作の再開が見込まれるケースがあるものの、耕作条件の悪い農地や担い手となる法人が存在しない地域については、何らかの対応策を検討する必要がある。			

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	25.0 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	5.0 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消		
令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0.0	ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	黄区分の遊休農地が発生していないため、工程表の策定は行わない。	

イ 新規発生遊休農地の解消		
前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	13.4	ha

③実績

ア 既存遊休農地の解消		
a 緑区分の遊休農地の解消		
今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	1.5	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)／(C)	30.0	%

b 黄区分の遊休農地の解消		
黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	黄区分の遊休農地が発生していないため、工程表の策定は行わなかった。	

イ 新規発生遊休農地の解消		
前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	0.1	ha

④その他

農地の利用状況 調査	調査実施時期			調査結果取りまとめ時期		
	令和6年7月、11月			令和7年3月		
	1号遊休農地 の面積	26.5	ha	うち緑区分の遊休農地	16.5	ha
				うち黄区分の遊休農地	10.0	ha
農地の利用意向 調査	調査実施時期			調査結果取りまとめ時期		
	令和6年11月			令和7年3月		
農業委員会の 点検結果		新たに発生する面積に比して、耕作再開等により解消される面積が少ないことから遊休農地の面積は年々増加している。また今後3年間、数千件の利用権・機構転貸の更新が控えており、耕作条件不利地などは貸借の更新がされない可能性があることから、更に遊休農地が増加する可能性が高い。				

(3)新規参入の促進

①現状及び課題			
現状	令和2年度新規参入者	令和3年度新規参入者	令和4年度新規参入者
	2 経営体	6 経営体	7 経営体
	0.4 ha	1.7 ha	3.1 ha
課題	高齢化により認定農業者の減少が続いている。一方、地域農業マスタープランの担い手経営体数は認定農業者も含め1,000経営体ほどに達していることから、この中から新規の認定農業者育成・確保に努めていく。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標				
権利移動面積	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均
	595 ha	504 ha	416 ha	505 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)	51.0	ha		

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		14.9	ha
公表URL	https://www.city.hanamaki.iwate.jp/	(その他の公表方法)	
目標に対する達成状況(B)/(A)		29.2	%
(参考)新規参入者の参入状況		参入経営体数	3 経営体
		取得農地面積	5.4 ha

農業委員会の点検結果	高齢化により認定農業者の減少が続いている。一方、地域計画の目標地図に位置付ける経営体数は認定農業者も含め1,500経営体ほどに達していることから、この中から新規の認定農業者育成・確保に努めていく。
------------	--

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10 日／月	最適化活動を行う農業委員の人数	24 人
		農地利用最適化推進委員の人数	28 人

(2)活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	3 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
7月、11月	②遊休農地の解消	農地パトロール調査:花巻管内全域一斉調査を行い、地域ごとに検討会を開催し利用意向調査を行う。再生利用が困難な農地は非農地判断等を行う。
通年(随時)	③新規参入の促進	市が行うワンストップ就農相談に出席し、農地等のあっせん等の相談を受ける。農業者年金加入推進強化月間に戸別訪問の際に新規参入者の掘り起こしを行う。
2月	①農地の集積	地域ごとに行った協議の結果を踏まえて更新した地域計画(目標地図含む)の内容の共有を行い、地域内の「農業を担う者」などの状況を確認。地域計画の実践へ向け、農地流動化などの方針を決定する。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

②実績

活動強化月間の設定回数	3 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の結果
7月、11月	②遊休農地の解消	農地パトロール調査:花巻管内全域一斉調査を行い、地域ごとに検討会を開催し利用意向調査を行い、再生利用が困難な農地は非農地判断等を行った。
通年(随時)	③新規参入の促進	市が行うワンストップ就農相談に出席し、農地等のあっせん等の相談を受けた。
2月	①農地の集積	地域ごとに行った協議の結果を踏まえて更新した地域計画(目標地図含む)の内容の共有を行い、地域内の「農業を担う者」などの状況を確認した。

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加

①目標

新規参入相談会への参加回数	2回
---------------	----

開催時期	通年(随時)	相談会名	ワンストップ就農相談窓口
参加者数	2	開催場所	JAいわて花巻総合営農指導拠点センター
相談会の内容	県・市・JA・農委が新規就農希望者の意向に沿って、個別に必要な助言・指導を行うもの		
開催時期	通年(随時)	相談会名	ワンストップ就農相談窓口
参加者数	2	開催場所	JAいわて花巻総合営農指導拠点センター
相談会の内容	県・市・JA・農委が新規就農希望者の意向に沿って、個別に必要な助言・指導を行うもの		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

②実績

新規参入相談会への参加回数	2回
---------------	----

開催時期	令和6年10月9日	相談会名	ワンストップ就農相談窓口
参加者数	1	開催場所	JAいわて花巻総合営農指導拠点センター
相談会の内容	県・市・JA・農委が新規就農希望者の意向に沿って、個別に必要な助言・指導を行った。		
開催時期	令和7年1月8日	相談会名	ワンストップ就農相談窓口
参加者数	2	開催場所	JAいわて花巻総合営農指導拠点センター
相談会の内容	県・市・JA・農委が新規就農希望者の意向に沿って、個別に必要な助言・指導を行った。		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

目標の達成状況の評語

目標に対して期待どおりの結果が得られた

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	
目標に対し期待を上回る結果が得られた	
目標に対して期待どおりの結果が得られた	7
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	45

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入